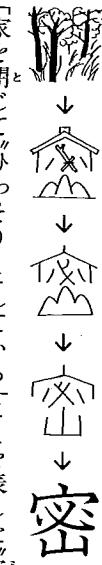


# 密

六年  
画数  
11  
筆順  
宀 宍 密  
ワン ミツ

成り立ち



「家を閉じて『ひつそり』としている」ことを表した字です。『密林』はそういう山奥の林のことです。ところが、密林は、木が「すき間がない」ほど茂っているのですから、「すき間がない」という意味に使われるようになりました。

「ひつそりとした山」という意味の字で、「人がめったに行かない山奥」のことを表した字です。『密林』はそういう山奥の林のことです。ところが、密林は、木が「すき間がない」ほど茂っているのですから、「すき間がない」という意味に使われるようになりました。

また、「ひつそり」の意味から、「こつそりと（ひそかに）」という意味にも使います。

**例**

密着、密談、密売、密約、密行、密会。

「ひつそり」として使われる場合は、密生、密雲、密度。

使い方

- ▽ おとうさんとおかあさんは、今日、何か密談していました。帰つて来た時は、かわいい子犬が一緒にいました。わたしの誕生日のプレゼントに、前から欲しいと思っていた子犬をもらつて来てくれたのです。
- ▽ ぼくのおとうさんは、口ひげを生やしています。鼻の下に濃い黒ひげが密生しています。生やしはじめた時は何だかおかしな気がしましたが、今は慣れて、よく似合うと思います。

（ひつたりとすき間なく着いていること。）

（すき間なく生えていること。）

（すき間がどの位あいているかの度合い。）

（こつそりと相談すること。）

（こつそりと売ること。）

（こつそりと約束すること。）

（こつそりと行くこと。）

（こつそりと会うこと。）

（ひつそりと着いていること。）

（ひつそりと着いていること。）

（ひつそりと着いていること。）

（ひつそりと着いていること。）

（ひつそりと着いていること。）

（ひつそりと着いていること。）

明 盟

六年  
画数  
13  
筆順  
ノン  
日 明 明 盟  
メイ  
ワン

成り立ち



『神明（神様のこと）』の意味の『明』と、『皿』とを組み合わせて作った字です。

昔、中国では、重大な『ちかい』を結ぶときには、神明の前で、皿に盛られた生けいえの血を口に呑つて約束しました。『ちかうこと』を表した字です。『ちかい』とは『固い約束』のことです。特に、「同じ目的で、同じ行動を取ることの固い約束」の意味を使います。

『神明（神様のこと）』の意味の『明』と、『皿』とを組み合わせて作った字です。

昔、中国では、重大な『ちかい』を結ぶときには、神明の前で、皿に盛られた生けいえの血を口に呑つて約束しました。『ちかうこと』を表した字です。『ちかい』とは

『固い約束』のことです。特に、「同じ目的で、同じ行動を取ることの固い約束」の意味を使います。

使い方

（今日の敵は今日の友）と言いますが、四十数年前には

敵国だったアメリカは、今は盟邦として四十数年も親

しい外交を続けています。

（困った時には助け合うことをちかい合つた友だ

ちのこと。同じ目的に向かつて、おたがいに励まし合

いながら進むことを約束し合つた友だち）

（同盟。条約を結んでいた国のこと。同盟国）

（共同の目的のために、同じ行動を取る約束をすること。）

（同盟の約束）

（同盟に加わること。また、共同で行う団体の一員になることにも使います。例：加盟店）

（同盟の中心になる人のこと。『盟主』という言い方もあります。）